STOP! 感染拡大 — COVID-19 —

まだまだ気を抜けない！
新型コロナウイルス感染症

令和３年７月 14 日

富山県感染症情報センター
（0766-56-5431　直通）

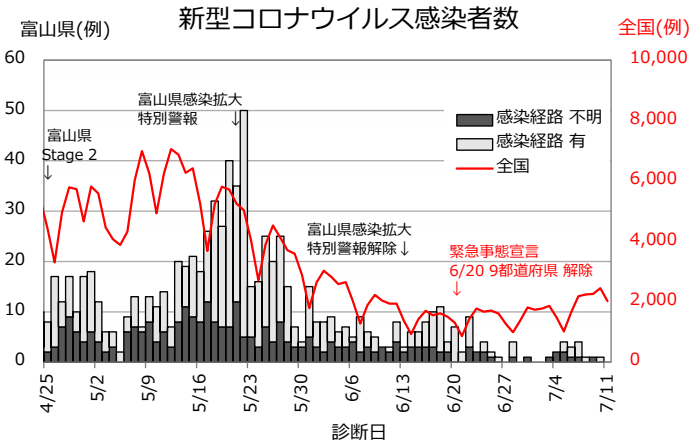
感染症発生動向速報

（令和３年第 27 週分・７月５日～７月 11 日）

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、7 月 11 日時点で 820,715 例となり、14,955 例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数（図；折れ線グラフ）は首都圏を中心として増加傾向であり、感染再拡大が懸念されています。7 月 12 日に 5 道府県のまん延防止等重点措置が解除されましたが、東京都では緊急事態宣言が発令されました。現在、東京都と沖縄県で緊急事態宣言が 8 月 22 日までの予定で発令され、4 府県でまん延防止等重点措置が実施されています。



県内の今週の新規感染者数は 15 例で、7 月 11 日時点の累積感染者数は 2,060 例になりました（図；棒グラフ）。新規感染者数及び入院者数は減少傾向であり、7 月 3 日から警戒レベルはステージ 2 からステージ 1 へ引き下げられました。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

県内では、5 月下旬には新規陽性例の全てが N501Y 陽性の変異株（ゲノム解析では英国由来のアルファ株※）になりました。アルファ株より感染性が高いとされるインド由来の変異株（デルタ株※）が国内で急速に拡散することが懸念されているため、衛生研究所での変異株検査は 6 月上旬からデルタ株を検出するための L452R 変異検査へ変更しました。7 月 8 日に県内で 2 例の L452R 変異検査陽性例が検出され、7 月 12 日時点で L452R 変異検査陽性例は累積で 4 例となっています。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。警戒レベルはステージ 1 ではありますが、デルタ株による感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691；24 時間対応)にご連絡ください。

※ WHO（世界保健機関）による呼称

《 全数報告の感染症 》

新型インフルエンザ等感染症　新型コロナウイルス感染症　１５件

二類感染症　結核　４件（①第 26 週診断分：70 歳代、男性　②50 歳代、男性　③80 歳代、男性　④90 歳代、男性）

四類感染症　レジオネラ症　３件（①②共に 60 歳代、男性、肺炎型　③70 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症　梅毒　２件（①30 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期　②30 歳代、女性、無症候）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位６疾患

順位	疾病名	定点あたりの数 今週（増減）	先週
１位	ＲＳウイルス感染症	6.76（↑）	6.34
２位	感染性胃腸炎	2.59（↑）	2.14
３位	咽頭結膜熱	0.69（↑）	0.52
４位	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28（↓）	0.45
	突発性発しん	0.28（→）	0.28
６位	手足口病	0.07（↑）	0.03

RS ウイルス感染症が全国的に増えています！
3 歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2～3 割は気管支炎、肺炎に進展。生後 6 ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

富山県感染症情報センターURL：https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/
お問い合わせ URL：https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry

○感染症発生動向調査報告状況（令和３年第２７週　令和３年７月５日～令和３年７月１１日）

分類	疾患	今週報告分（第２７週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症			8	1	6		15	116	133	364	66	769	32	1,480
二類感染症	結核				1	2		3	8	5	21	10	27		71
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										3	1	2		6
四類感染症	Ｅ型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症	1	1			1		3	1	3	7		3		14
五類感染症	ウイルス性肝炎								2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2		5
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										2		2		4
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒			1		1		2	1	1	4		13		19
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
定点疾病 （下段は定点当たりの患者数を示す）	インフルエンザ										5				5
	ＲＳウイルス感染症	9		133	42	12		196	112	113	1,306	144	769		2,444
		2.25		16.63	10.50	1.20		6.76							
	咽頭結膜熱	2	1	2		15		20	28	31	128	6	105		298
		0.50	0.33	0.25		1.50		0.69							
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1	7		8	60	33	424	78	192		787
					0.25	0.70		0.28							
	感染性胃腸炎	15	11	17	2	30		75	505	258	395	168	1,008		2,334
		3.75	3.67	2.13	0.50	3.00		2.59							
	水痘								1	6	22	5	26		60
	手足口病	1				1		2	4		10	1	8		23
		0.25				0.10		0.07							
	伝染性紅斑									1	7	1	12		21
	突発性発しん	2		2	2	2		8	38	19	92	40	82		271
		0.50		0.25	0.50	0.20		0.28							
	ヘルパンギーナ								16	1	2		1		20
	流行性耳下腺炎				1			1	2	2	5	4	6		19
					0.25			0.03							
	流行性角結膜炎									1					1
	細菌性髄膜炎												2		2
	無菌性髄膜炎												2		2
	マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1
	インフルエンザによる入院患者（※2）										1	8			9

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。　※1 その他は県外、居住地非公表分です。　※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です

〇感染症発生動向調査報告状況（令和３年６月分）

		６月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 （定点把握） 月報対象疾患 （下段は定点当たりの患者数を示す）	性器クラミジア感染症			3		8	11		1	8		45	54
				1.00		2.00	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		5	6		3	3	2	27	35
				0.33		1.25	0.60						
	尖圭コンジローマ				2	1	3				3	9	12
					2.00	0.25	0.30						
	淋菌感染症					3	3	1				6	7
						0.75	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		1	1	3	6	5	8	11	5	20	49
		1.00		1.00	1.00	3.00	1.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			4			4	3		13			16
				4.00			0.80						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。